



第 **57** 期 第2四半期

中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで

アルメタックス株式会社

証券コード:5928

株主の皆様へ



代表取締役社長兼社長執行役員
村 治 俊 哉

Index

page 1 株主の皆様へ

4 業績の推移

5 決算事項

7 Topics

9 株式の状況

10 会社の状況

株主の皆様におかれましては、平素は当社事業に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第57期第2四半期(中間)(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の事業のご報告を作成いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

■経営成績及び財政状態

経営成績

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け個人や企業の活動が制限され、経済へ大きな影響を及ぼしました。

国内の住宅建材市場におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け新設住宅着工戸数が大幅に減少し、非常に厳しい環境が続きました。経済活動の再開にともない8月以降は持直しの動きが見られ始めましたが、依然として先行が不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当第2四半期累計期間における当社の経営成績は、売上高につきましては、主力製品である新設戸建住宅用建材及びリフォーム用住宅建材の受注は大幅に減少し、前期実績を大きく下回る結果となりました。収益面につきましても、総費用の削減並びに生産性の改善に取組みましたが、売上高の低下による影響を補うには至らず収益性が大幅に低下したことにより、前期実績を大きく下回る結果となりました。また、収益性の低下による将来の回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく減損処理を行い、特別損失(減損損失)7億9千6百万円の計上を余儀な

くされました。

その結果、売上高につきましては、44億9千万円(前年同期は53億7千5百万円、△16.5%)となりました。

利益面につきましては、営業損失で1億3千6百万円(前年同期は営業利益で1千万円)、経常損失で2千4百万円(前年同期は経常利益で8千3百万円)、四半期純損失は9億8百万円(前年同期は四半期純利益で7千9百万円)となりました。

新設住宅着工戸数は引続き減少傾向が続くものと見込めますが、新規取引先の獲得並びに新製品の開発に注力し、売上高の回復に努めてまいります。また、総費用の削減並びに生産性の更なる改善に取組み、全社的な収益回復に取組んでまいります。

財政状態

資産合計は、前事業年度末に比べて9億8千8百万円減少し、100億6千4百万円となりました。主な変動項目としては、現金及び預金が1億7千2百万円、受取手形(電子記録債権を含む)及び売掛金が1億9千5百万円、有形固定資産及び無形固定資産が主に減損損失を計上したことにより7億8千2百万円それぞれ減少し、市場価格が前事業年度末に比べ大きく上昇したことにより投資有価証券及び関係会社株式の評価が合計で1億7千1百万円増加しております。

負債合計は、前事業年度末に比べて1億3千6百万円減少し、21億6千1百万円となりました。主な変動項目としては、支払手形及び買掛金が9千1百万円減少しております。

純資産合計は、前事業年度末に比べて8億5千1百万円減少し、79億3百万円となりました。主な変動項目としては、利益剰余金が四半期純損失を計上したことにより9億8百万円、前期末配当金を支払ったことにより6千1百万円減少し、その他有価証券評価差額金が1億1千9百万円増加しております。また、土地の減損にともなう振替により土地再評価差額金が1億3千万円増加し、利益剰余金が同額減少し、利益剰余金は合計で11億1百万円減少しております。

配当の状況について

当期の中間配当金につきましては、5円とさせていただきます。

現在、期末配当金につきましては、諸般の情勢を勘案し、慎重に検討致しました結果、1円と予定しております。年間配当金は、中間配当金と合わせて、6円とする予定です。

株主の皆様におかれましては、引続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■経営方針

会社の経営の基本方針

当社は、「健康」「快適」「環境共生」をキーワードに、高品質の住まいづくりに寄与し、創造性豊かな住宅建材製品を市場に提供することを通じて、創業以来CS(お客様満足度)の向上を基本として経営を進めてまいりました。

今後ともお客様の満足を通じて事業の成長と企業価値の最大化を目指すとともに、CSR(企業の社会的責任)を前面に掲げ、株主の皆様やお客様の期待に応えるとともに、地域社会や地球環境に貢献できることを基本理念に取り組んでまいります。

また、人材能力を十分に発揮させる職場環境を築き、最大限のスピードをもって従業員が職務遂行できる経営を実践し、常に中長期的視野に立って強い経営基盤を構築して会社の持続的成長が図れるよう取り組んでまいります。

会社の利益配分に関する基本方針

当社は、一貫して株主の皆様への利益還元を最も重要な経営課題のひとつとして位置付けております。配当につきましては安定配当を基本とし、業績に応じた配当政策を実施してまいります。

また、内部留保資金につきましては、経営体質の一層の強化並びに将来の事業展開に充当する方針です。

会社の対処すべき課題

住宅建材産業を取り巻く環境は、社会構造の変化、新築住宅市場の縮小などで競争が激化するなど大きな変革の時期を迎えています。また、国内住宅着工戸数は引き続き緩やかな減少傾向が続くものと見込まれますが、中長期的な経営戦略に基づき、売上・収益の増加に向けて、既存製品の受注を堅持するとともに、新規取引先の獲得並びに当社オリジナルの高付加価値製品のさらなる開発に注力してまいります。

さらには、生産部門における省人化生産ラインの導入等さらなる省人化による業務の効率化を進めるとともに、情報処理の

一層の効率化を促進する等、生産部門はもとより管理間接部門も含めた業務の合理化を推進して収益構造の改善に全社を挙げて取り組んでまいります。

環境に関する方針

当社は全ての事業活動において、環境共生活動を経営の重要課題として認識し、全社をあげて地球環境の保全に積極的に取り組んでおります。基本姿勢として、

- (1) 全ての事業活動において法規制及び自ら同意したその他の要求事項を遵守し、よりよい環境保全の維持向上と汚染の予防に努めます。
- (2) 全社をあげて環境負荷低減に配慮した活動を行うため、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行うとともに、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減・リサイクルにかかわる目標を設定し、継続的な改善活動に積極的に取り組みます。
- (3) 企画、開発・設計、購買、生産、物流、使用、廃棄に至る製品の全ての段階にわたり環境に配慮し、的確に対応します。
- (4) 環境教育、社内広報活動を通じて、全従業員に環境方針並びに地球環境の大切さを周知徹底するとともに、社会や地域との連携を密にして環境保全活動にかかわる情報開示を行い、一人一人が、自ら環境保全活動を遂行できるよう、啓発と支援を行います。

■業績の推移

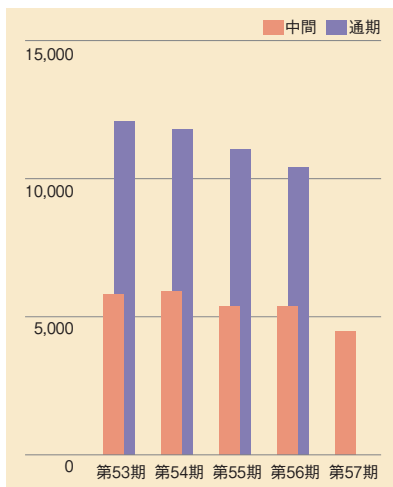
	第53期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで	第54期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで	第55期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	第56期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで	第57期第2四半期(中間) 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
売上高(千円)	12,064,153	11,779,987	11,065,400	10,422,727	4,490,674
営業利益又は営業損失(△)(千円)	445,569	285,694	△ 139,094	△ 24,076	△ 136,076
経常利益又は経常損失(△)(千円)	523,772	381,557	△ 38,879	76,548	△ 24,887
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	352,271	180,211	△ 78,370	60,612	△ 908,412
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)(円)	34.18	17.49	△ 7.60	5.88	△ 88.15
総資産(千円)	11,704,244	11,721,137	11,455,123	11,052,802	10,064,596
純資産(千円)	9,108,800	9,265,894	9,002,497	8,754,457	7,903,244
1株当たり純資産(円)	883.89	899.14	873.58	849.53	766.94
従業員数(名)	410	409	411	399	369

(注) 1. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)は期中平均発行済株式総数に基づき、1株当たり純資産は期末発行済株式総数に基づき、算出しております。

2. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第55期の期首から適用しており、第54期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

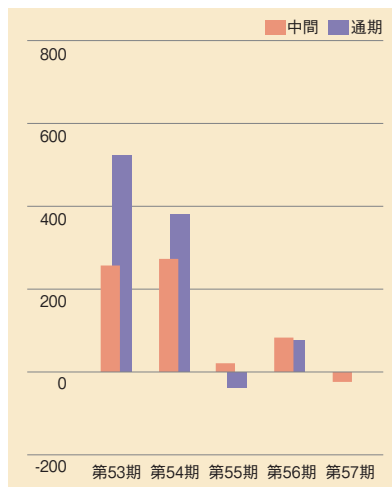
■売上高

(単位:百万円)



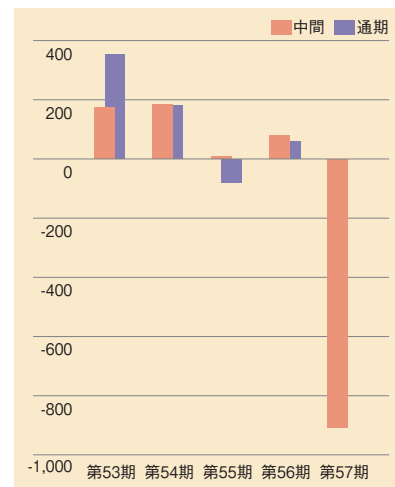
■経常利益又は経常損失

(単位:百万円)



■当期純利益又は当期純損失

(単位:百万円)



■決算事項

第2四半期(中間)貸借対照表(要約)

●資産の部

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日現在)	当第2四半期 会 計 期 間 (2020年9月30日現在)
流 動 資 産	5,633,751	5,260,029
現 金 及 び 預 金	1,409,217	1,236,993
受取手形(電子記録債権含む)及び売掛金	3,374,505	3,179,278
た な 卸 資 産	711,891	685,648
そ の 他	141,005	160,811
貸 倒 引 当 金	△ 2,868	△ 2,702
固 定 資 産	5,419,050	4,804,567
有形固定資産	2,974,641	2,312,441
建 物	873,441	822,383
土 地	1,494,351	1,465,142
そ の 他	606,849	24,915
無形固定資産	128,389	8,151
投資その他の資産	2,316,019	2,483,974
投資有価証券	1,218,968	1,350,407
関係会社株式	978,921	1,018,966
そ の 他	126,278	122,748
貸 倒 引 当 金	△ 8,148	△ 8,148
資 産 合 計	11,052,802	10,064,596

●負債の部

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日現在)	当第2四半期 会 計 期 間 (2020年9月30日現在)
流 動 負 債	1,816,147	1,543,698
支払手形及び買掛金	1,226,700	1,135,179
未 払 法 人 税 等	38,497	17,899
賞 与 引 当 金	160,018	148,000
製 品 保 証 引 当 金	10,241	9,140
そ の 他	380,690	233,478
固 定 負 債	482,198	617,654
退職給付引当金	169,447	173,787
そ の 他	312,750	443,866
負 債 合 計	2,298,345	2,161,352

●純資産の部

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日現在)	当第2四半期 会 計 期 間 (2020年9月30日現在)
株 主 資 本		
資 本 金	2,160,418	2,160,418
資 本 剰 余 金	2,584,575	2,584,575
利 益 剰 余 金	3,773,174	2,671,995
自 己 株 式	△ 399,158	△ 399,180
株 主 資 本 合 計	8,119,011	7,017,809
評価・換算差額等	635,446	885,434
その他有価証券評価差額金	715,269	834,320
土地再評価差額金	△ 79,822	51,113
純資産合計	8,754,457	7,903,244
負債・純資産合計	11,052,802	10,064,596

第2四半期累計期間(中間)損益計算書(要約)

(単位:千円)

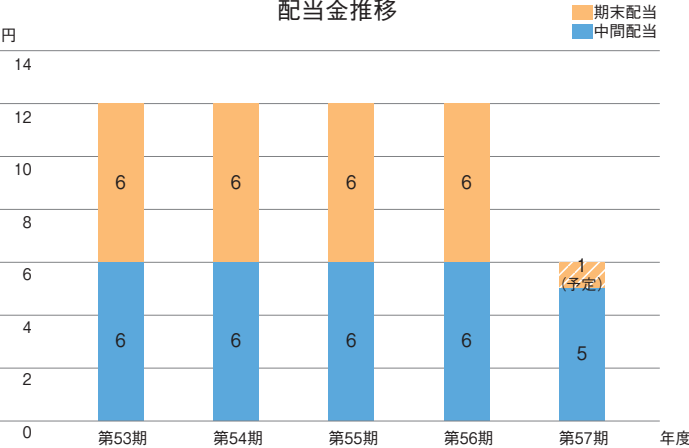
	前第2四半期 累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期 累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	5,375,138	4,490,674
売上原価	4,459,255	3,779,430
販売費及び一般管理費	904,893	847,321
営業利益又は営業損失(△)	10,990	△ 136,076
営業外収益	73,358	112,021
営業外費用	1,127	832
経常利益又は経常損失(△)	83,221	△ 24,887
特別利益	38,692	—
特別損失	807	797,002
税引前四半期(中間)純利益又は 税引前四半期(中間)純損失(△)	121,106	△ 821,889
法人税、住民税及び事業税	14,500	7,838
法人税等調整額	27,383	78,683
四半期(中間)純利益又は 四半期(中間)純損失(△)	79,223	△ 908,412

第2四半期(中間)キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:千円)

	前第2四半期 累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期 累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	191,344	147,156
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 22,129	△ 257,571
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 61,810	△ 61,808
現金及び現金同等物の 増加額(△減少額)	107,404	△ 172,224
現金及び現金同等物の 期首残高	1,135,496	1,409,217
現金及び現金同等物の 期末残高	1,242,901	1,236,993

配当金推移



Topics

個性豊かな窓。 住宅との調和。 暮らしの可能性が広がります。

アイデアとデザイン、そして環境共生を加えた機能的なアルミニウム建材製品。
これからも「今までになかった」をコンセプトに新たな製品を提供し続けます。



樹脂・アルミフリップウインドー



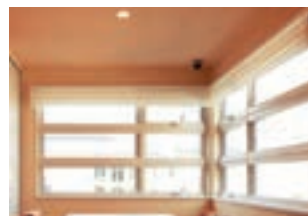
樹脂・アルミ
スーパーディープサッシ



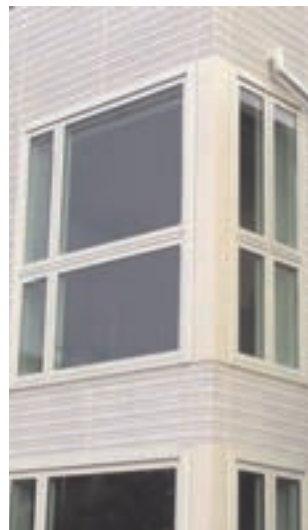
樹脂・アルミ
スイングFixサッシ



樹脂・アルミたてすべり出し連続窓



樹脂・アルミヴィスタビューサッシ



樹脂・アルミスイングFixサッシ
コーナータイプ



樹脂・アルミたてすべり出しFix窓



アンティーク室内建具

あるまど
シリーズ

内窓

既存の窓に内窓を付けるだけの「簡単リフォーム」。
住まいの断熱性が大幅にアップし、冷暖房費を抑えて省エネに貢献
します。さらに、結露やカビ発生の抑制、気になる室内外の音の遮断
など、暮らしに快適なさまざまな効果も発揮します。

Before

内開きタイプ

After

引違いタイプ

After

Before

額縁
リフレッシュ材

リフォーム工事の際、既存額縁の傷や化粧シート剥がれ等が多く見受けられま
す。

この額縁リフレッシュ材により、内壁を取り壊さず、既存額縁をカバーすることで
簡単に美しくリフレッシュできます。



Before

After

■株式の状況

●株式の総数

発行可能株式総数	37,000,000株
発行済株式の総数	11,912,515株

●資本の額

資本金	2,160,418,283円
-----	----------------

●株主 (2020年9月30日現在)

株主数	2,520名
-----	--------

●大株主 (上位10位)

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
積水ハウス株式会社	3,740,447	36.30
積水化学工業株式会社	703,910	6.83
アルメタックス従業員持株会	431,786	4.19
遠山 和子	330,000	3.20
株式会社みずほ銀行	121,583	1.18
株式会社三菱UFJ銀行	121,574	1.18
石川 晋	114,000	1.11
西田 新次郎	109,700	1.06
カネエム工業株式会社	100,000	0.97
第一生命保険株式会社	100,000	0.97

(注) 1. 所有比率は自己株式を控除して計算しております。

2. 上記のほか、当社所有の自己株式1,607,545株
(発行済株式総数に対する所有株式数の割合13.49%)があります。

●株主メモ

上場金融商品取引所	東京証券取引所	市場第2部
証券コード	5928	
単元株式数	100株	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月開催	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	中間配当金	毎年9月30日

公告の方法 電子公告とし当社ホームページ(<http://www.almetax.co.jp/>)に掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031

■株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

■特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

■会社の状況

●取締役並びに執行役員（2020年9月30日現在）

代表取締役社長兼社長執行役員	村 治 俊 哉
取締役相談役	小 原 肇
取締役（社外取締役）	濱 岡 峰 也
取締役（社外取締役）	渡 部 健
取締役兼副社長執行役員（営業・技術・生産管掌）	矢 田 肇
取締役兼専務執行役員（管理本部・監査・品質保証管掌）	生 川 聖 一
常務執行役員（生産本部長）	山 元 秀 和
執行役員（技術本部長）	中 川 智

●監査役（2020年9月30日現在）

常勤監査役	清 家 由 和
監査役（社外監査役）	田 中 善 秀
監査役（社外監査役）	大 西 一 嘉

●会社の概況

商 号	アルメタックス株式会社
設 立	1969年11月
事 業 内 容	住宅用建材の製造・販売
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.almetax.co.jp/
本 社	〒531-6120 大阪市北区大淀中1丁目1番30号 (梅田スカイビル タワーウエスト20階) TEL (06) 6440-3838
東 京 支 店	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル4階) TEL (03) 5330-3181

●主要工場

滋賀工場

滋賀県栗東市
下鈎字富寿959-6
TEL (077) 552-3181



関東工場

茨城県古河市丘里15-1
TEL (0280) 98-1231



山口工場

山口県山口市
鑄銭司字上竜山3694
TEL (083) 986-3737



静岡工場

静岡県掛川市大坂4214-2
TEL (0537) 72-6730



栗東資源循環センター

滋賀県栗東市
六地藏145-19
TEL (077) 552-3565



東北センター

宮城県加美郡色麻町
大原217-14
連絡先(関東工場)
TEL (0280) 98-1231





アルメタックス株式会社

本 社 〒531-6120 大阪市北区大淀中1丁目1番30号(梅田スカイビル タワーウエスト20階) TEL(06)6440-3838
東京支店 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号(西新宿KFビル4階) TEL(03)5330-3181



この冊子は、FSC®認証紙と、
環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。